平成２４年度第８回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門
兼　高校生ものづくりコンテスト２０１２東北大会旋盤作業部門予選会

山形県立東根工業高等学校
事務局　　山﨑　眞司

１　はじめに

６月１７日（日）、高齢・障害・求職者雇用支援機構山形職業訓練支援センターにて、「平成２４年度第８回高校生ものづくりコンテスト山形県大会旋盤作業部門　兼　高校生ものづくりコンテスト２０１２東北大会旋盤作業部門予選会」が開催された。前日１６日（土）は午後から練習会が行われ、参加選手がそれぞれ本番で使用する旋盤の入念なチェックを行った。今年度も酒田光陵、寒河江工、長井工、鶴岡工、新庄神室産、山形工、米沢工、東根工から計８名の参加があり、「高校生ものづくりコンテスト全国大会」と同じ課題に挑み、日頃の旋盤加工の腕前を競い合った。

写真１　大会風景

写真２　大会風景

２　大会結果

大会結果は、以下の通りである。

優勝・・・・・・・・・・・・・・・	８９点
二瓶　美摘（米沢工２年）	時間 1:59'
２位・・・・・・・・・・・・・・・	７５点
中山　　輝（酒田光陵２年）	時間 2:10'
３位・・・・・・・・・・・・・・・	３６点
富樫　　賢（鶴岡工３年）	時間 2:25'

以下、新庄神室産、寒河江工と続いた。なお、長井工は制限時間超過。山形工、東根工は途中棄権であった。

写真３　大会参加選手

今年度より全国大会の課題がより難易度の高いものに変更となり、各学校の選手とも対応に苦慮している様子が見受けられた。標準時間内に完成した選手が１名しかいなかったことや、加工中に大きな失敗をしてしまい途中棄権を余儀なくされた選手が複数名いたことなどから、選手にとってはかなり厳しい競技会であったと思われる。また、審査基準も例年より厳しいものとなり、審査員の厳正な審査により結果は大差の判定となった。

３　生徒のアンケート

１）調査内容より

・　大会までの練習期間は、１ヶ月以内が３名、２ヶ月以内３名、３ヶ月以内が２名であった。
・　練習で製作した個数は、10 個以上が５名(昨年７名)

２）感想として（抜粋）

・　より精度のよい物を作るという作業は楽しくて、改めてものづくりのおもしろさを学ぶことが出来た。
・　学校で練習の時使用した旋盤より大きくて異なった箇所もいくつかあって戸惑った。
・　練習不足のせいもあったが、作業時間が短く時間内に製作するのが厳しかった。

４　おわりに

優勝した二瓶さん（米沢工）は、９月３０日に岩手県で行われた東北大会に出場した。結果は第４位であったが、出場選手の中で一番に課題を完成させるなど、山形県の代表として精一杯戦って来たようであった。

最後に、大会開催において関係各位の多大なるご支援ご協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。